

わんぱく相撲焼津場所新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

一般社団法人焼津青年会議所

本ガイドラインは、公益財団法人日本相撲連盟競技委員会の「相撲における競技会再開ガイドライン」を基にしたガイドラインであり、大会を開催する際の新型コロナウイルス感染防止等の留意点を示すものである。

1. 大会開催に関する事前準備

会場

- 1) 密集対策として参加者（選手・保護者・大会関係者）が最低1mの距離を保つことができるようにする。
- 2) 応援者及び観客については最低1mの間隔を保てるように適切に入場を制限する。

会場設営

- 1) 感染防止に関する注意事項を適切な場所に掲示し周知を図る。
- 2) 入場者が密集しないように区域割を行い、人の向きが合わない導線を示す。
- 3) 適切な場所に、アルコール消毒場所を設置する。
- 4) トイレや支度スペースなど複数の参加者が触れると考えられる場所の消毒を定期的を実施する。
- 5) 東西の土俵溜では、選手・副審の距離を可能な限り保つ。

2. 健康確認

参加者に対し、当日の検温のほか大会前2週間における下記項目の有無について情報提供を求める。

- 1) 平熱を超える発熱（おおむね37.5度以上）
- 2) せきやのどの痛みなど風邪の症状
- 3) 倦怠感や息苦しさ
- 4) 嗅覚や味覚の異常
- 5) 体が重く感じる事、疲れやすいこと等
- 6) 新型コロナウイルス感染症陽性と判定された者との濃厚接触の有無
- 7) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいないこと
- 8) 大会前14日以内に政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされる国や地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触があること

主催者は参加者のうちに当日の体温が平熱を超える者や上記項目に該当する者に対して参加の見合わせを求める。

主催者は、保護者や大会関係者に対しても上記項目に該当する場合には入場の見合わせを求める。

3. 当日受付

- 1) 受付に手指消毒液を設置する。
- 2) 人と人が対面する場所には透明のビニールカーテン等を設置する。
- 3) 受付スタッフはマスクを着用する。
- 4) 入場者に対してマスクの着用を求める。
- 5) 待機列が発生する場所に距離を取って並べるように立ち位置を示し、整理誘導する。

4. 参加者の行動

- 1) 競技以外はマスクを着用しこまめに手洗いと手指消毒を行う。また向かい合っでの会話は控えるようにする。
- 2) 会場では、密集・密接・密閉の3密を避けるようにする。
- 3) タオルや水分補給用のドリンクは自分専用のもを持ち込むようにする。
- 4) 出場選手は取組前後に手指や顔、胸など自分の体表面を清拭し清潔に保つ。
- 5) 参加者同士の大声での声援等は禁止とし、競技以外は決められた場所で周囲の者と十分な距離を保って観戦をする。
- 6) 主審以外の審判は、協議中もマスクを着用する。
- 7) 主審は、飛沫拡散を配慮し通常より1歩後ろで動作を行う。
- 8) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合には速やかに主催者に連絡する。

5. 保護者・応援者の管理

- 1) 体調不良者の入場は認めないようにする。
- 2) マスクを着用しない者の入場は認めないようにする。
- 3) 決められた場所で周囲と十分な距離を保つように求める。
- 4) こまめな手洗いと手指消毒を行うように求める。
- 5) 大声での声援は禁止し、会話を控えるよう求める。
- 6) 上記事項の順守ができない者については退場を求める。

6. 主催者の対応

- 1) 大会主催者は、新型コロナウイルス感染症対策の「会場責任者」を複数名指名し、大会会場内での感染症防止策の徹底に努めさせる。
- 2) 「会場責任者」は、本対策ガイドラインが定める留意事項が順守されているか、巡回確認をする。
- 3) 「会場責任者」は、感染予防に反する行為を見かけた場合は口頭注意をする。是正されない場合には退場を命ずる。
- 4) 開会式、閉会式は原則行わず、開会宣言、閉会宣言のみを行うことが望ましい。
- 5) 表彰式に関して、登壇者と選手はマスクを着用する。

7. その他

- 1) 会場内での食事は禁止とする。
- 2) トイレの使用後は30秒以上の手洗いを行いタオルの共用は避ける。手洗場に消毒液を設置し手指消毒を行うように促す。
- 3) 感染予防に必要な消毒液等は、できる限り各自が確保・準備する。
- 4) 参加者から収集した個人情報については、責任を持って管理する。

2021年01月12日策定

2022年02月28日改定